

第34回全日本ライフセービング・プール競技選手権大会

全日本プール

チーム1次要項



第34回全日本ライフセービング・プール競技選手権大会
実行委員会

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は当協会事業に対しまして格別なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、下記の通り「第34回全日本ライフセービング・プール競技選手権大会」を開催いたします。

つきましては開催にあたり参加競技者の募集をさせていただきますので皆様のご参加をお待ち申し上げます。本競技会より、プール競技、オーシャン競技、SERCの3つの競技を基本として、カテゴリ別の年間総合順位をつけ表彰をして参ります。

また、本競技会は、国際ライフセービング連盟（ILS）の認定競技会となる予定です。ユース、オープンもしくはマスターズのカテゴリーにおいて世界記録を破った場合には、必要な手続きを経た上で世界記録として申請されます。

本競技会を安全に開催及び実施するにあたり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐ為、参加者（競技者、競技役員、関係スタッフ、など全員）は【ライフセービング競技会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン<プール競技編>】を必ず熟読し、それらを確実に遵守することが求められます。ガイドラインに付随して、主催者・参加者がすべきこととしてチェックリストを公開していますので、ぜひご活用願います。併せて、各団体／クラブの指導者やコーチの皆様は、参加競技者への指導と説明をお願い致します。

新型コロナウイルスの流行に対し、要項発表の時点では実施の方向で準備を進めていますが、今後、感染拡大の危険性、流行のピーク、開催地を管轄する都道府県及び自治体の方針などをふまえ開催中止も含め変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

敬具

記

- 大会名称 第34回全日本ライフセービング・プール競技選手権大会
- 主催 公益財団法人日本ライフセービング協会
- 認定（予定） 国際ライフセービング連盟
- 日程 2021年5月8日(土)～9日(日)
- 会場 横浜国際プール（神奈川県横浜市都筑区北山田7-3-1）
- 後援（予定） スポーツ庁、神奈川県、日本水泳連盟、神奈川県水泳連盟、日本赤十字社
- 協賛 株式会社三洋物産／株式会社三洋販売
- 協力 特定非営利活動法人神奈川県ライフセービング協会

■ 競技種目

[個人種目]

- 01※ 障害物スイム (200m) (女子)
- 02※ 障害物スイム (200m) (男子)
- 03※ マネキンキャリー (50m) (女子)
- 04※ マネキンキャリー (50m) (男子)
- 05 レスキューメドレー (100m) (女子)
- 06 レスキューメドレー (100m) (男子)
- 07※ マネキンキャリー・ウィズフィン (100m) (女子)
- 08※ マネキンキャリー・ウィズフィン (100m) (男子)
- 09※ マネキントウ・ウィズフィン (100m) (女子)
- 10※ マネキントウ・ウィズフィン (100m) (男子)
- 11 スーパーライフセーバー (200m) (女子)
- 12 スーパーライフセーバー (200m) (男子)

[チーム種目]

- 13 ラインスロー (12.5m) (女子)

14	ラインスロー (12.5m) (男子)
15※	マネキンリレー (4×25m) (女子)
16※	マネキンリレー (4×25m) (男子)
17※	障害物リレー (4×50m) (女子)
18※	障害物リレー (4×50m) (男子)
19※	メドレーリレー (4×50m) (女子)
20※	メドレーリレー (4×50m) (男子)

- ※印の種目は、中学生の参加可能種目とする。但し、大会参加規程 1-6 及び 1-7 を遵守すること。
- 下線のある種目は、原則としてタイム決勝にて実施をする。エントリー数により予選・決勝をタイム決勝に、タイム決勝を予選・決勝に、それぞれ変更する場合がある。
- [個人種目] 種目の登録数は競技者 1 人につき 2 種目を基本とする。3 種目以上に出場する場合は、追加参加費 (1,000 円/1 種目) が必要となる (但し、チーム種目を除く)。
- [個人種目] エントリーする条件として「エントリー標準タイム」を設定する (詳細は別紙「エントリー標準タイムについて」を参照すること)。
- [チーム種目] 各団体/クラブから 1 チームのみのエントリーとする。

■ 競技規則

国際ライフセービング連盟発行「ILS Competition Rule Book 2019 Edition (Revised February 2020, January 2021, March 2021)」に則り実施をする (日本語に対訳した、本協会発行「ライフセービング競技規則<2021年版> (2021.03.04版)」を参照)。詳しくは大会参加規程 7. を参照すること。

※競技ルールを十分に理解して出場すること。

■ タイムテーブル

別紙を参照すること。確定版は、申込締切・集計後に 2 次要項と共に公表する。

■ 得点/団体総合順位

タイム決勝及び決勝の結果に対して各種目の上位 1 位～8 位を入賞とし、得点が加算される。配点は以下の通りとする。

1 位-8 点	2 位-7 点	3 位-6 点	4 位-5 点	5 位-4 点	6 位-3 点	7 位-2 点	8 位-1 点
---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

- [個人種目]、[チーム種目] とともに同じ得点とする。
- [個人種目] に限り同種目に同じ団体/クラブの競技者が入賞した場合も、上記の通りの得点が加算される。
- 団体/クラブの獲得点が同点の場合、1 位の種目が多い団体/クラブを上位に、1 位の種目が同数の場合は 2 位の種目が多い団体/クラブを上位に…、として団体総合順位を決定する。
- 決勝で失格の場合は「0 点」とする。
- 団体総合順位は、本競技会で実施する 20 種目中 16 種目 (全体種目の 80%) 以上の最終競技結果をもって、成立するものとする。
- 海外競技者が入賞した場合、国内競技者を繰り上げて得点の加算を行う。但し海外団体/クラブは団体総合順位の対象としない。

■ 表彰

<種目別表彰>

各種目上位 1 位～3 位にメダルを授与する。なお、海外競技者も同等の扱いとする。

<団体総合表彰>

前項 (得点/団体総合順位) の獲得点を集計し、獲得点の多い上位 1 位～3 位の団体/クラブに表彰状を授与する。また、上位 1 位 (総合優勝) には本協会理事長杯を贈る。

■ 参加費

【競技者個人】

一般	1 人につき	8,000 円	※保険代含む
高校生	1 人につき	7,000 円	※保険代含む
中学生	1 人につき	6,000 円	※保険代含む

※ [チーム種目] のみに出場する競技者も、エントリーフォーム「様式 B-3 (個人種目・男子)」又は「様式 B-4 (個人種目・女子)」に競技者情報を入力し、参加費を支払うこと。

【〔個人種目〕追加参加費】

3 種目以上に出場する場合は、1 種目ごとに 1,000 円

※〔チーム種目〕は含まれない。

【〔チーム種目〕参加費】

1 種目につき 1,000 円

【変更手数料】

1 つの変更につき 3,000 円

- 申込締切後であっても、各種変更（出場種目変更及び追加、エントリータイムの修正、その他の記載事項の修正、など）を可能とする。但し、申込締切時にエントリーが完了している競技者のみを対象とする。
- 新たな競技者のエントリーは一切認めない。
- 種目の追加を行う場合、変更手数料と併せて前述の参加費（〔個人種目〕追加参加費、〔チーム種目〕参加費）も支払わなければならない。
- 変更手数料の振込先は、エントリー参加費と同様の口座とする。期限内に必ず支払うこと。期限内に変更手数料（及び追加に伴う不足分の追加参加費）が支払われない場合は一切の変更を受け付けない。

（変更例）

種目を 1 つ変更する場合=3,000 円

種目を 2 つ変更する場合=6,000 円

個人種目 2 種目エントリー済み、1 種目追加する場合=4,000 円（追加 1,000 円+変更 3,000 円）

【参加費の扱いについて】

以下のような状況であっても、参加費及び変更手数料は返還されない。

- 参加競技者が欠場あるいは失格となった場合。
- 申込締切後に出場登録が取り消された場合。
- エントリーミスによる競技会出場不可の場合。
- 天候その他の理由により、やむを得ず開催中止となった場合。

但し、本競技会に限り、新型コロナウイルスの流行に対し、今後感染拡大の危険性、流行のピークなどをふまえ事前に開催中止と判断された場合はこの限りではない。この場合による参加費返金は以下の通りとする（振込手数料は主催者負担とするが、返金先の口座情報に誤りがあり、再振込に係る諸手数料が発生する場合はチーム側の負担とする）。

- 競技会当日から 2 週間以上前の判断による場合：返金を行う ***目安 2021/4/23(金)以前**
 - 〔個人種目〕追加参加費及び〔チーム種目〕参加費は返金しない。
 - 競技者 1 人あたり 2,000 円を徴収し、残金を返金する。
 - ◇ 一般 : 1 人につき 6,000 円の返金
 - ◇ 高校生 : 1 人につき 5,000 円の返金
 - ◇ 中学生 : 1 人につき 4,000 円の返金
- 競技会当日から 2 週間以内の判断による場合：一切返金しない

【その他】

後述するテクニカルオフィシャルの選出エントリーに不備があり、指定する期日までにその不備が修正されず、それでも大会に出場を希望する場合は、救済のためのペナルティ手数料（選出審判員の不備：30,000 円）が科される場合がある。参加するテクニカルオフィシャルが【参加規程】を満たしているかよく確認し、不備がないうえで申込締切日までにエントリー作業を進めること。

エントリー不備がある時点で、本来であれば出場は不可である。期日までにエントリーを正しく完了している団体／クラブと、公平性を保つ為の処置とする。

※参加競技者本人及び参加団体／クラブのエントリーに不備があった場合は、いかなる理由でも救済を認めない。そのため、参加競技者及び参加団体／クラブともに申込締切日までに【参加規程】を満たしているかどうか、各団体／クラブの代表者は必ず確認をすること。

■ テクニカルオフィシャルの選出

参加団体／クラブの参加競技者人数に応じたテクニカルオフィシャルの選出をすること。競技会運営を円滑に実施するための措置とする。大会参加規程 9. を遵守すること。

■ 代表者会議

競技進行や競技実施における注意事項等について説明する代表者会議を、競技会の前に開催する。団体／クラブ代表者（やむを得ない場合は参加競技者の中から代表者に準ずる者）は必ず出席をすること。詳細は2次要項にて、エントリー担当者宛にメールで配信をする。

開催日時：2021年5月8日(土) 競技開始前(予定)

開催場所：競技会会場 プール招集エリア(予定)

■ 海外競技者の出場登録

別紙「海外競技者および海外審判員の日本国内競技会への参加について」を参照すること。

■ ドーピング検査（日本アンチ・ドーピング機構より）

1. 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。
2. 本競技会参加者（18歳未満の競技者を含む。以下同じ）は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなします。18歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなします。
3. 本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯して下さい。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のウェブサイト（<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>）からダウンロードできます。18歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出して下さい。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出て下さい。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内にJADA事務局へ郵送にて提出して下さい。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとします。
4. 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意して下さい。
5. 競技会・競技会外検査を問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技／運動終了後2時間の安静が必要となるので留意して下さい。
6. 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容及びドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト（<https://www.playtruejapan.org/>）にて確認して下さい。

■ 宿泊について

本協会及び行政（観光協会／組合、など）の斡旋はしない。必要な場合は各団体／クラブで手配すること。

■ 観覧席

安全管理上及び会場の場所取り等での混乱を避けるため、各団体／クラブ観覧席の区分けをあらかじめ大会実行委員会にて指定をする。区分け詳細は2次要項にて公表とする。

■ 会場へのアクセス／駐車場について

横浜国際プール

神奈川県横浜市都筑区北山田 7-3-1

<http://www.waterarena.jp/>

- 極力、公共交通機関を利用して来場すること。
- 施設駐車場は一般利用者優先のため、利用不可とする。
- 自家用車等で来場の場合は、近隣のコインパーキングを利用すること。
- 絶対に違法駐車はしないこと。

■ 情報発信

競技会専用の SNS を活用し、競技会関係各位へ2次的に情報提供をするため運用を行う。本競技会に限らず、国内の競技会全般の情報発信とする。

SNS 名称：Facebook

アカウント名称：JLA Lifesavingsport

<https://www.facebook.com/jla.lifesavingsport/>

■ 申込方法

各種要項等を必ず熟読し、以下の手順でエントリー作業を行うこと。提出先などの詳細は、別紙「エントリースケジュール（各種締切）」を必ず確認すること。

※様々なエントリー不備（期日までに各種登録が完了していない、宛先メールアドレス入力間違い、郵送物が提出されていない、入金金額が不足している、など）が非常に多く発生している。申込締切日までに正しくエントリー出来ていない場合は、(前述のテクニカルオフィシャル選出を除き)いかなる状況・理由でもその後のエントリーは認めず、また参加費の返還はしない。エントリー担当者はミスが無いように慎重に作業を進めること。

【オンライン登録管理システム「LIFESAVERS」での作業】

- 各団体／クラブは、本協会への 2021 年度加盟登録を期日までに完了させること（登録の承認を受け、期日までに登録費を支払う）。
- 各競技者は、自身の「資格登録」と「選手登録」の 2021 年度登録を期日までに完了させること（登録申請を行い、期日までにそれぞれの登録費を支払う）。
- 各競技者は、「クラブ加入申請」又は「継続加入申請」を行い、出場する団体／クラブへの所属を完了させること。また各団体／クラブ代表者は出場する競技者の各種登録（資格登録、選手登録、所属登録）が完了しているかどうか必ず確認をすること。
- 団体登録費、資格登録費、選手登録費の支払いは「LIFESAVERS」システムに従い入金をすること。参加費受付の金融機関口座への振り込みではないので注意すること。

【データ提出物の作業】

- 「エントリーフォーム」を使い、各団体／クラブ情報、各競技者個人情報及び出場種目、チーム種目の出場種目を入力し、指定された提出先メールアドレスへ期日までに提出（メール送信）をする。
- 申込締切後の各種変更手続きをする場合は、指定のフォームを使い指定された提出先メールアドレスへ期日までに提出（メール送信）をする。
- 2 次要項の配信及びその他の情報発信は、全てメール配信にて行う為、「compe@jla.gr.jp」からのメール受信ができるように、端末（メールソフト、スマートフォン、など）の受信設定をすること。

【郵送での作業】

- 「エントリーフォーム」のうち「様式 D（同意書）」を印刷し、各団体／クラブ代表者は同意書の各項目を熟読および遵守すること。必要事項を記入し、指定された宛先（住所）まで期日までに郵送で提出すること。

【参加費支払いの作業】

- 各団体／クラブの参加費合計金額（個人参加費＋チーム種目参加費）を、指定された金融機関口座へ期日までに支払うこと。
- 申込締切後の各種変更手続きをする場合は、変更手数料の合計金額（変更手数料＋不足分の参加費）を、指定された金融機関口座へ期日までに支払うこと。
- 参加費の支払いは、「LIFESAVERS」では取り扱えないため、注意すること。

■ その他

【会場への入場制限について】

本競技会を安全に開催及び実施するにあたり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐ為、競技会会場への入場は関係者（当日の出場競技者、出場チームの引率者 3 人まで、コンディショニングトレーナー 1 人まで、競技会運営スタッフ、競技役員）のみとする。この為、競技に出場しない者（同チーム在籍だが本競技会に出場しない者、同チームの卒業生、保護者、一般観客、など）の来場は控えること。また、朝の入場にあつては過度な密接状態を防ぐために「分散入場」の措置を講じる場合がある。

【競技会前 14 日間の体調管理の記録とチェックシート等の提出について】

本競技会を安全に開催及び実施するにあたり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐ為、当日競技会会場へ入場する全ての関係者に対して、競技会前 14 日間における体調管理を記録し、その記録データの提出を求める。記録及び提出方法は、以下の 2 通りのいずれかを予定している。詳細はエントリーチーム及びテクニカルオフィシャルに後日案内する。

1. 専用のスマートフォンアプリケーションを活用した記録及び電子データによる提出
2. 紙媒体による記録及び提出

【競技会場について】

- メインプール及びウォーミングアップで使用するレーンロープは切れやすい為、つかまったり寄りかかったりしないこと。
- メインプールにおけるスタート台は、調整が可能なバックプレートを使用する予定である。
- メインプールにおける水深は1.8mとする。

【スポーツ育成委員会より】

本競技会は、2022年開催予定の「The World Games 2022」ライフセービング種目出場の為の選考及び認定競技会となっている。また、第12期ハイパフォーマンスプログラム（第12期HPP）の選考対象とする。本競技会における個人および団体種目の結果を参考に、第12期HPPのハイパフォーマンスチームに選出する。

【競技成績証明書】

各種目で入賞した競技者で競技成績証明書が必要な場合、本協会 LIFESAVING SITE「ライフセービングスポーツ」→申請・規定・規則→競技成績より「競技成績証明書」を入手し、本協会事務局まで提出すること。発行申請は該当する競技会より1年以内の期間で受付をする。

■ オンライン登録管理システム「LIFESAVERS」

システムを通じて「JLA-ID」を取得し、管理ページにて保有資格等の確認と2021年度登録費（個人：資格登録や選手登録、団体：団体登録）の支払いを済ませること。各種登録は1年ごとである。なお、登録方法の手順や不明点は、「LIFESAVERS」の問い合わせフォームから問い合わせをすること。

<https://life-savers.jp/>



■ 保険について

大会参加規程のもとでの参加者（競技者、競技役員）は、以下の保険に加入している。なお、賠償責任保険については、競技会参加者同士の事故には法律上の賠償責任が発生しないため、保険の対象とはならない（例：レース中、A競技者のクラフトがB競技者のクラフトにぶつかりB競技者のクラフトが破損した）。競技会期間中の場合は、競技会本部事務局に直ちに報告すること。

【傷害保険】

死亡保険金額	500万円
後遺障害保険金額	20万円～500万円
入院保険金額	3千円
手術保険金額	入院保険金額の5倍または10倍
※代理店：有限会社リプロ（0466-55-4388）	

【感染見舞金補償保険】

死亡お見舞金	100万円
入院・通院日数31日以上	7万円
入院・通院日数8～30日	5万円
入院・通院日数7日以下	3万円
※代理店：有限会社リプロ（0466-55-4388）	

【団体賠償責任保険】

賠償責任保険（身体・財物）	2億円
賠償責任保険（管理財物）	50万円
賠償責任保険（人格権侵害）	50万円
事故対応費	500万円
見舞費用（死亡）	50万円
見舞費用（後遺障害）	2万円～50万円

見舞費用（入院） 2万円～10万円
見舞費用（通院） 1万円～5万円
※代理店：有限会社リプロ（0466-55-4388）

【個人賠償責任保険】

賠償責任保険（身体・財物） 1億円

※1事故につき5千円の自己負担

※代理店：株式会社第一成和事務所 営業第二部（03-5645-1071）

■ お問い合わせ

公益財団法人日本ライフセービング協会事務局

〒105-0013 東京都港区浜松町2-1-18 トップスビル1階

TEL：03-3459-1445（対応時刻：平日12:00～18:00）

FAX：03-3459-1446

E-Mail：compe@jla.gr.jp

LIFESAVING SITE：<https://ls.jla-lifesaving.or.jp/>

第 34 回全日本ライフセービング・プール競技選手権大会 参加規程

1. 参加資格

競技者の参加資格は下記を満たしている者、若しくは本協会が特別に参加を認めた者でなければならない。

- 1-1 競技者は、競技会 1 日目当日満 12 歳以上でなければならない（但し、小学生を除く）。
- 1-2 競技者は、ライフセービングを志し、指定された資格を保有した状態で出場する競技会の過去 1 年以内に海岸やプール等水辺での監視・救助活動、または教育・普及活動に従事したものでなければならない（但し、中学生を除く）。
- 1-3 競技者は、本協会が認定するアカデミー資格を、申込締切日までに取得していなければならない（検定に不合格となった場合でも、競技会参加費は返還されない）。年齢区分別に対象資格は以下の通りとする。
- 一般 : サーフライフセービング資格又はプールライフガーディング資格※
高校生 : BLS 資格及びウォーターセーフティ資格
中学生 : ウォーターセーフティ資格
- ※サーフライフセービング資格又はプールライフガーディング資格とは次の資格のことを指す（JLA アカデミー規程集「資格認定に関する規程」より）
- サーフライフセービング・指導員（アシスタントインストラクター含む）
 - プールライフガーディング・指導員（アシスタントインストラクター含む）
 - ベーシック・サーフライフセーバー
 - アドバンス・サーフライフセーバー
 - プールライフガード
 - アドバンス・プールライフガード
- 1-4 競技者は、申込締切期日までに、オンライン登録管理システム「LIFESAVERS」にて 2021 年度の資格登録費及び選手登録費の支払いを完了していなければならない。
- 1-5 エントリー標準タイムが設定されている個人種目では、当該種目のエントリー標準タイム以下で申し込みをしなければならない（団体／クラブ代表者の責任において申告すること）。エントリー標準タイムとは、当該種目に出場するための最低限の泳力を示すもので、当該種目に出場するためにはエントリー標準タイム以下であることがエントリーの条件である。エントリー標準タイムから著しく遅い場合（目安：①エントリー標準タイム+10% ②体力不足による DNF）、当該競技者及び当該団体／クラブ代表者に対して事情を確認し、次年度の本競技会への出場を停止とする。但し、本協会主催又は認定競技会において、エントリー標準タイムを突破し証明書（様式任意）を提出することで、出場停止の措置は解除される。以下は、その対象となる競技会（予定）の一例である。
- 全日本学生ライフセービング・プール競技選手権大会
 - 全日本ジュニア/ユース/マスターズ選手権大会（プール）
 - 神奈川県ライフセービング・プール競技選手権大会
 - 神奈川県ジュニア・ユースライフセービング・プール競技会
- 1-6 中学生は、過去に本協会が主催するユース区分におけるプール競技の競技会又は選手権大会に、本競技会にて出場する同種目に出場した実績を有すること。
- 1-7 中学生は、前項 1-6 を満たしている場合のみ、チーム種目（マネキンリレー（4×25m）、障害物リレー（4×50m）、メドレーリレー（4×50m））の参加を認める。

2. 団体／クラブ構成

- 2-1 団体／クラブは、申込締切期日までに、オンライン登録管理システム「LIFESAVERS」にて本協会への 2021 年度加盟登録が完了していなければならない。
- 2-2 本競技会に出場できる団体／クラブは、第 1 種、第 2 種、第 5 種、第 6 種に限る。但し、第 5 種クラブ又は第 6 種クラブから出場できる競技者（その年齢）は、競技会における最初の競技種目が行われる日に、学校教育法第 17 条第 2 項に規定された保護者による就学義務が発生する年齢を超過している者に限る。但し、超過は 3 歳以下とする。
- 2-3 1 団体／クラブからの出場は 1 つまでとする。
- 2-4 団体／クラブは、同じ団体／クラブに所属する競技者により構成されていなければならない（競技者は、オンライン登録管理システム「LIFESAVERS」にて、「クラブ加入申請」または「継続加入申請」を行い、出場する団体／クラブへの所属を完了させること）。
- 2-5 チーム種目において、男女混合チームを編成することは認められない。

3. 団体／クラブ名称

参加団体／クラブ名称は、本協会に登録されている団体／クラブ名称を原則とする。

4. 出場登録

- 4-1 参加競技者は、個人種目・チーム種目に関わらず、予め所定の用紙（電子データファイル）を用いて出場種目の登録をしなければならない（エントリー不備等が発覚した場合は、団体／クラブ代表者及びエントリー担当者にメールでのみ通知をする）。
- 4-2 エントリーに過誤があった場合に限り、出場登録（申込締切）後の「出場種目の変更」が出来る。但し、既に出場登録が完了している者のみ対象とし、新たな競技者の追加登録は認めない。なお、個人種目・チーム種目の全種目について、変更又は追加が出来るものとする。

5. 団体／クラブ代表者

各参加団体／クラブは、団体／クラブを代表する者として代表者を1名置かなければならない。なお、団体／クラブ代表者と競技者はこれを兼任することが出来る。また、団体／クラブ代表者（やむを得ない場合は参加競技者の中から代表者に準ずる者）は必ず代表者会議に出席しなければならない。

6. ユニフォーム及び競技中の衣類

- 6-1 各団体／クラブは、式典や表彰式及び競技に適したユニフォーム、水着、キャップを持たなければならない。ラッシュガードは、主催団体から特別な指示がない限り、競技中任意に着用することができる。
- 6-2 ユニフォーム、水着、キャップの性質、デザインが一般常識に反すると主催団体が判断した場合は、いかなる競技者も競技に参加することができない。
- 6-3 キャップは、登録されていない物でもよい。
- 6-4 キャップは、団体／クラブ全員が同様の色とパターンのキャップでなければならない。オーシャン競技用とプール競技用で色やパターンが異なる場合、併用することは認められない。
- 6-5 団体／クラブのユニフォーム、水着、キャップ、ラッシュガードに競技会のスポンサーと対立するような商標、商標名があると主催団体が判断した場合、その対応は主催団体の指示に従わなければならない。

7. 競技規則

本競技会は、国際ライフセービング連盟発行「ILS Competition Rule Book 2019 Edition (Revised February 2020, January 2021, March 2021)」(日本語に対訳した、本協会発行「ライフセービング競技規則<2021年版>(2021.03.04版)」を参照)及び下記の事項に則り実施をする。但し、下記の事項が競技規則よりも優先させる。

- 7-1 本競技会は、代表者会議開始時刻に開始し、最終競技種目の終了から20分後に終了するものとする。但し、抗議、上訴又は規律審査に属する問題がある場合、最終解決まで競技会は継続する。
- 7-2 競技会にエントリーすることで、参加者は競技会を管理する関連規則、規程、手順を知る責任と義務があることを認識しているものとする。
- 7-3 決勝はA決勝、B決勝に分けず、1ヒート（A決勝に相当）のみとする。
- 7-4 マネキン・ハンドラーは競技者と共に指定された時刻までにマーシャルに集合し、テクニカルオフィシャルの指示により整列すること。
- 7-5 本競技会における上訴の預託金の金額は、10,000円とする。
- 7-6 マネキン・ハンドラーは、原則として当該競技者と同じチームのメンバー（本競技会に競技者として出場登録している者）とする。やむを得ずチームメンバー以外からマネキン・ハンドラーを選出する場合、チーフレフリーが認める可能性があるのは、同様に本競技会に競技者として出場登録している者に限る。

8. 競技器材

- 8-1 競技で使用する器材は、本協会発刊ライフセービング競技規則の「第8章 設備及び器材の規格と検査手順」の基準を満たさなければならない。
- 8-2 プール競技で使用するマネキン、障害物、レスキューチューブ、スローラインは、主催団体が用意する。
- 8-3 主催団体は、競技者の競技器材の検査・再検査を競技前、競技中、競技終了後任意に行うことができる。競技器材が基準を満たしていない場合は、その競技者はその器材を使用できないか又は失格となる。

- 8-4 全ての競技においてプール水温は約 26℃、水深は 1.8m とする。
8-5 ラインスロー (12.5m) において、クロスバーとして障害物スイム等の「障害物」を用いる。

9. テクニカルオフィシャルの選出

- 9-1 参加団体／クラブは、参加競技者数に応じてテクニカルオフィシャルを選出しなければならない。選出する人数は以下の通りとする。
競技者 5～10 名=1 名、同 11～20 名=2 名、同 21～40 名=3 名、同 41 名以上=4 名
何らかの理由でテクニカルオフィシャルが参加できなくなった場合は、必ず代替りの者を選出すること。両日に渡り必要人数の選出がない（競技会当日に必要な人数のテクニカルオフィシャルの参加がない）団体／クラブは、本競技会への出場を認めない（団体／クラブ全体の不参加とする）。
- 9-2 選出するテクニカルオフィシャルは、本協会が認定する認定審判員資格を、申込締切期日までに取得していなければならない。また、本競技会に競技者として出場登録をしていないこと。
- 9-3 選出するテクニカルオフィシャルは、本協会が認定する BLS 資格を、申込締切期日までに取得していなければならない。
- 9-4 選出するテクニカルオフィシャルは、申込締切期日までに、オンライン登録管理システム「LIFESAVERS」にて 2021 年度の資格登録費の支払いを完了していなければならない。
- 9-5 選出されたテクニカルオフィシャルは、「競技役員 1 次要項」に従い、指定された方法で申込を行うこと。
- 9-6 選出されたテクニカルオフィシャルの参加に関わる食事、宿泊等は「競技役員 1 次要項」に基づき、主催者が負担する。交通費は支給しないため、自己負担又は選出した各団体／クラブが負担すること。但し宿泊に限り、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策のため、主催者の手配ではなく各団体／クラブでの手配となる（委ねる）場合がある。
- 9-7 選出されたテクニカルオフィシャルは 2 日間を通じて参加できること。なお、2 日間を通じてテクニカルオフィシャルを選出できないときは、**やむを得ず、日ごとにテクニカルオフィシャルが入れ替わることを認める。**
- 9-8 海外競技者（団体／クラブ）に限り、「9. テクニカルオフィシャルの選出」は適用除外とする。

10. 大会記録／日本記録／世界記録について

- 10-1 大会記録は、日本記録と同じ種目で認められる。
10-2 本協会による日本記録の認定及び／又は国際ライフセービング連盟 (ILS) への世界記録申請にあたり、該当者全員の国籍を確認する。
10-3 ILS への世界記録申請にあたり、該当者全員のドーピング検査を実施する。但し、マスターズは必須ではない。
10-4 世界記録は、競技会 1 日目の満年齢ではなく、本協会発刊ライフセービング競技規則の「第 2 章 共通競技総則」のうち「2.11 年齢区分」を適用して申請する。

11. その他

- 11-1 本競技会を安全に開催及び実施するにあたり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐ為、参加者（競技者、競技役員、関係スタッフ、など全員）は【ライフセービング競技会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン＜プール競技編＞】を必ず熟読し、それらを確実に遵守すること。
11-2 競技会中に競技会主催者及び競技会主催者が認めた者が撮影した写真や映像を、ライフセービングの広報の目的で使用することがある。
11-3 競技会中に競技会主催者が撮影を制限したり、拒否したりすることがある。なお、撮影された記録の提出を求める場合がある。
11-4 競技会主催者への提出書類の記載事項に虚偽が認められた場合、競技会への参加や記録が取り消されることがある。

以 上